平成29年度 城東区区政会議地域まちづくり部会

日時：平成29年8月24日

○谷口部会長　皆さん、こんばんは。部会長の谷口でございます。それから、副部会長の又川さんです。よろしくお願ひします。

それでは定刻になりましたので、ただいまから平成29年度城東区区政会議地域まちづくり部会8月部会を開会いたします。

まず最初に、事務局より事務連絡がありますので、事務局、よろしくお願ひいたします。

○縣総務課長　こんばんは。総務課長の縣でございます。

開会に当たりまして、事務連絡をさせていただきます。座って説明させていただきます。

最初に、本日の手話通訳の方を紹介いたします。手話通訳を担当しますのは、城東区手話サークルひだまりの皆さんです。委員の皆様におかれましては、発言に当たり、マイクを口元のほうに近づけていただいて、少しゆっくり目に話していただければ幸いです。マイクは、区の職員がお持ちいたします。

次に、区政会議は公開の会議です。報道機関に写真撮影を許可しております。また、議事録を作成する必要があるため、会議を録音させていただいております。さらに、あちら、ユーストリームによるライブでのネット配信も行っております。御了承のほど、よろしくお願ひします。

続きまして、委員の皆様の御紹介ですが、あらかじめ委員名簿をお送りさせていただいておりますので、そちらを御参照ください。なお、この部会では、部会長は谷口委員、副部会長は又川委員にお願いしておりますが、規約上、部会長、副部会長もみずからの意見を述べるということになっておりますので、あわせてよろしくお願ひいたします。

次に、区役所でございますが、最初に区長の松本から御挨拶申し上げます。

○松本区長 皆様、こんばんは。城東区長の松本でございます。

委員の皆様方におかれましては、まだまだお暑い中、またお忙しい中、7月18日の区政会議本会議に引き続きまして、本日、地域まちづくり部会に御出席を賜りまして、まことにありがとうございます。

本日の会議では、先の本会での御議論を引き継いでいただきまして、城東区将来ビジョンのまちづくりに関しまして、皆様方の忌憚のない御意見を頂戴いたしたく、また、皆様方からいただきました御意見につきましては、今後十分に参考にさせていただきまして、城東区将来ビジョン、並びに並行して検討を進めております城東区運営方針、こちらの策定に活かしてまいりたいと考えております。

それでは、活発な御議論をお願いを申し上げまして、簡単ではございますけれども、開会に当たりましての挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくをお願いを申し上げます。

○縣総務課長 続きまして、副区長の奥野でございます。

○奥野副区長 副区長の奥野でございます。よろしくお願いいいたします。

○縣総務課長 そのほか、関係の職員も参加させていただいておりますので、よろしくお願いいいたします。

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚物の次第、それから、別紙1は事前に送らせていただいております部会の名簿でございます。別紙2は配席図でございます。次に資料1、こちらも事前に送付させていただいておりますが、7月の本会でいただきました意見・質問への区の考え方でございます。資料2は、前回御協力いただきましたアンケートの集計結果でございます。資料3につきましては、御意見シートでございます。

次に、別に配付をさせていただいておりますかと思えます、市政改革プラン2.0（区政編）。これにつきましては、7月の本会で御意見を頂戴いたしましたが、パブリッ

クコメントを踏まえまして、8月9日に策定されております。本日の部会では直接これについて御意見をいただきませんが、今後、区役所において取り組む事項につきましては、各区の運営方針に盛り込むということとされております。これにつきましては、10月に開催を予定しております本会で報告をさせていただこうと考えております。こちらには、区政会議のことにも触れられておりますので、また御参照いただけたらと思います。

それから、案内文で御案内させていただいているかと思うんですけども、前回の使用いたしましたこちらの次期城東区将来ビジョンの方向性、こちらはお持ちいただいておりますでしょうか。本日は、こちらの将来ビジョンの方向性を中心に説明をさせていただきますので、御準備をお願いします。もし、お持ちでないようであれば、お声がけいただきましたら。

よろしいでしょうか。では、資料の確認については、以上でございます。

では、部会長、よろしく願いいたします。

○谷口部会長　それでは、議事に入りたいと存じますが、まず、本日の進行を説明いたします。

次期将来ビジョンの方向性について、事務局より説明していただき、それから議論に入ります。その後、8時30分をめぐりに会議を進め、延長がありましても9時には終了してまいりたいと存じますので、皆様方には御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、議題につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

○縣総務課長　総務課長の縣でございます。

最初にこちらの、先ほど説明しました資料1、7月の本会での意見・質問への考え方でございます。本日の議論の参考にしていただけたらと思っておりますが、今回から意見・質問に対する対応状況というところ、右側のほうなんですけれども、そういう欄を設けさせていただいております。その中に要検討というのがあるかと思っております。

1 ページ目でいきますと、2 番のところ、区政会議専門部会の構成について、ここが、右側のほう見ていただきましたら、要検討、四角が黒塗りになっているかと思います。この要検討に分類している事項につきましては、今後予算要求等に向けて検討させていただく内容ということでございますので、また方向性が決まりましたら改めて報告なりさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では続いて、先ほど御準備をお願いいたしました次期将来ビジョンにつきまして、おさらいということで簡単に概要を説明をさせていただいた後、各施策の方向性を担当から説明をさせていただきます。

○綿世企画調整担当課長代理 皆さん、こんばんは。企画調整担当課長代理の綿世です。

それでは、私から、7月の区政会議の本会でも説明させていただきましたが、お手元の資料2、次期城東区将来ビジョンの方向性につきまして、御説明を申し上げます。それでは、座って説明をさせていただきたいと思っております。

次期将来ビジョンの方向性の区役所案の全体概要につきまして、御説明をさせていただきます、その後、各施策の詳細な説明については、担当から説明をさせていただき、御意見を頂戴したいと考えております。

1 ページ目ですけれども、この将来ビジョンですけれども、次の5つに分けて構成がされております。1つ目が「将来ビジョンとは」というところです。2つ目が「現状と課題」、3つ目が「将来像と基本理念」、4つ目が「施策の方向性と内容」、5つ目が「ビジョン推進に向けて」と、この5つの構成となっております。

2 ページ目に移っていただきまして、まず1つ目、「将来ビジョンとは」というところでございます。将来ビジョンは、区の将来像の実現に向けた施策展開の方向性を取りまとめたものでございまして、その将来ビジョンに基づく単年度のアクションプランとしまして、区運営方針がつくられております。左下にありますけれども、平成25年4月に策定されました現在の将来ビジョンが、今年度で期限を迎えますので、

来年度の運営方針をつくる前に来年度以降の新たな将来ビジョンの策定が必要になってくるという状況でございます。

3 ページ目に移らせていただきますけれども、城東区の現状がどういう状況なのかということの主な統計データを抽出させていただいております。

4 ページ目に移りますけれども、区民アンケート等からみる区民意識の現状というところで、4 つぐらい書かせていただいておりますが、3 つ目では、地域活動に参加している区民の割合が、12.1%と低くなっております。4 つ目のところですが、区役所からの情報発信の内容は十分だと思える区民の割合、これにつきましては、27.9%ということで、約7割の方が情報発信が不十分だと感じておられる状況です。その下ですけれども、区役所が重点的に取り組むべきことは何だと考えていますかと、こういう質問につきましては、防災・防犯が41.6%、子育て支援・健全育成が13.6%、福祉・保健が、真ん中のほうですけれども、19.1%と高くなっているところでございます。

続きまして5 ページですけれども、現状を受けた課題認識でございますけれども、1 つ目には、少子高齢化が進む中で全ての方が安心して暮らせるような地域づくりには、地域活動の担い手や参加者を広げていくことが大変重要であるということ、そのためには、区役所からの情報発信が必要であるということ、また、地域におきまして、現在取り組まれておられます区民主体のまちづくりを生かしながら、引き続き「住のまち」として豊かなコミュニティーづくりに取り組んでいく必要があるのではないかと考えているところです。

6 ページ目でございますけれども、これからのビジョンの将来像と基本理念でございます。基本的には、今まで取り組んでまいりました流れをそのまま引き継いでまいりたいと、それを実施していく方向で考えております。将来像としましては、住んでよかったと思えるまち、基本理念では、1 つ目が「温かいまち」、2 つ目が「住民主体のまち」、3 つ目が、全ての方が安心して暮らすことのできる「安心なまち」とい

うことで、この3つを基本理念として、平成30年度から5年間取り組んでいきたいと考えております。

7ページですけれども、施策の方向性と内容ということで、1つ目が「コミュニティ豊かなまちに」、2つ目が「地域で支えあう安全で安心なまちに」、3つ目が「未来を切り拓く子どもを育むまちづくり」、4つ目が「地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせるまちへ」、この4つを重点的に取り組む施策というふうに考えております。

8ページ目以降ですけれども、ここでは、各施策ごとの取り組み内容等を記載しております。この部会は、まちづくり部会ですので、この後、各施策の詳細につきましては、担当のほうから説明をさせていただきたいと考えております。

申しわけありません。16ページまで飛んでいただけますでしょうか。16ページでございます。

大きな5番としまして、「ビジョン推進に向けて」と書かせていただいております。引き続き信頼される区役所づくりを推進していくことが、大変重要でありまして、また、地域に最も近い行政機関として、適切な地域ニーズの把握や情報発信を今後とも進めていく必要があるということを記載させていただいております。

17ページですけれども、参考としまして、策定までのスケジュール案を掲載しております。本日の部会でさらに深く御議論いただきまして、その修正案を素案としまして、新たな区政会議の委員の構成になりますけれども、10月の本会でお示しをさせていただき、また部会等でも御議論をいただきたいと考えております。また、同時並行で広く区民の方に意見募集を行いたいとも考えております。また、表の右側、平成30年度の運営方針につきましては、将来ビジョンの素案とともに、それに沿った内容で10月の本会で素案を提示させていただきたいと考えております。そして、将来ビジョン、運営方針とも最終的には年度末ごろに確定をしてまいりたいと考えております。

それでは、本日は、地域まちづくり部会ですので、主にまちづくりと教育にかかわる内容ということになりますので、資料の 8 ページ、9 ページのところ、まちづくりの分野につきましては、市民活動支援担当課長の冷水より説明をさせていただき、12 ページ、13 ページの部分につきましては、子育て教育担当課長の谷川より説明をさせていただきたいと思えます。

それでは、かわらせていただきます。

○冷水市民活動支援担当課長　　こんばんは。市民活動支援担当課長の冷水です。

それでは、私から 8、9 ページを説明させていただきます。失礼して、座らせていただきます。

まず、8 ページを御参照いただきたいと思います。

「人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちに」ということで、現状といたしまして、昨年度行いました区民アンケートにおきまして、95.5%の方が、城東区は住みやすいまちと感じられております。84.2%の方が、愛着を感じるという回答をしております。住民同士のつながりやきずながあると感じますかという質問に対しましては、「感じる」は14.9%、「ある程度感じる」は43.3%で、その理由は、「日ごろからあいさつをする相手がいるから」が最も多く70.0%で、次に「祭りなど地域イベントに参加しているから」が10.8%となっております。また、地域における住民同士のつながりやきずなの基礎となる地域振興会への加入率、これは年々減少傾向にはあるものの、城東区では72.6%となっております。

この現状に対する分析でございますが、住みやすいまちと感じる区民、これは多くなっておりますが、その理由の大半は「交通や買い物が便利」であり、「近くに親しい人がいる」というのが20%、「近所づきあいがよい」が8.8%と低い数値となっております。つながりやきずなについては、住民同士のつながり等が「あると感じる」、「ある程度感じる」と答えた方のうち、「日ごろからあいさつする相手がいる

から」と答えた方が20代では93.8%と高い比率ですが、30歳代になると42.9%と半減をし、「子育てや学校を通じて知り合いがいるから」という理由が30代では31.0%、40歳代では17.6%であるなど、年齢層や生活スタイルの状況によって違いが生じております。

みずからのまちはみずからでつくろうという方向性を持ち、さまざまな活動主体がまちづくり、音楽、スポーツなど幅広く活動を展開をしておりますが、その活動に区民みずからが参加し、つながりの輪を広げようとする方が、まだまだ少ない状況でございます。子育て世代、若者の活動への参加率が低い状況でございます。

課題でございますが、交通や買い物に便利という理由だけではなく、地域コミュニティや都市魅力を理由としてまちに愛着を感じ、また、年齢を問わずつながり・きずなを感じるまちづくりへの取り組みが重要であると考えております。それぞれの事業について、子育て世代、若者が参加しやすい、参加したくなる内容・環境を整備する必要があると考えております。また、高齢化が進む中であって、若者から高齢者までが協働で行える事業を展開することも必要であると考えております。

次に9ページでございますが、「人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちに」ということで、まず、「タテ・ヨコ・ナナメでつながるまちづくり」ということで、これに対する戦略でございますが、各地域活動協議会のさまざまな活動内容について、広く区民に周知することにより、住民への活動の浸透と各地域活動協議会が地域課題の解決やコミュニティづくりに寄与するなど、地域活動協議会が自立して活動できるよう支援をまいります。

また、小学校等を拠点として取り組まれている生涯学習活動を支援し、それぞれの活動を通じ、区民同士を結ぶお互いのつながりと思いやりを育むことにより、地域コミュニティづくりを推進してまいります。スポーツを通じて、こどもから高齢者までが交流できるように、体育厚生協会、スポーツ推進委員などと連携し事業も展開してまいります。

めざす将来像でございます。めざす状態といたしましては、地域においてさまざまな活動主体がタテ・ヨコ・ナナメでつながり、コミュニティーが豊かになり、みずからの力で地域課題の解決が図れる状態をめざしてまいります。数値目標といたしまして、区民アンケートで住民同士のつながりやきずながあると感じる区民の割合、これを70%以上となるようめざしてまいります。参考に28年度実績は58.2%でございました。

「魅力あるまちづくり」につきまして、この戦略でございます。城東区ゆめ～まち～未来会議やアイラブ城北川実行委員会などのまちづくりの担い手と連携をしながら、幅広い層の自主的活動が活性化するように支援をしてまいります。また、全ての人が音楽や芸術に触れ合える機会の提供とこどもたちの音楽活動を支援をしてまいります。さらに、「区民による緑化活動」を支援をいたしますとともに、緑化活動を推進する人材育成をも行ってまいります。

「魅力あるまちづくり」におけるめざす将来像でございます。めざす状態が、多くの区民が一度は音楽、花づくり、まちづくりのいずれかの事業に参加をし、今後も参加したいと思っている状態をめざします。数値目標でございますが、区民アンケートにおいて、区で行う事業に参加したいと思う割合を60%以上をめざしてまいります。参考で平成28年度●%と書いてありますが、28年度、こういう内容でのアンケートを行っておりませんでしたので、29年度の実施の中での数値をまた今後入れてまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

○谷川子育て教育担当課長　すみません、子育て教育担当課長の谷川でございます。

引き続きまして、資料の12ページ、13ページ、「3　安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちづくり」の教育分野について、説明をさせていただきます。座って説明させていただきます。

では、12ページの現状というところでございますが、教育に関しましては3行目

になります。平成28年度に実施されました「こどもの生活に関する実態調査」におきまして、困窮度が高まるにつれて、4つの傾向が示されております。上の2つ、学習理解度「よくわかる」「だいたいわかる」の割合と2つ目の進学希望について、子ども、保護者とも「大学・短大」の割合が2つ下がっております。3つ目の希望する進学ができない理由として「経済的余裕がない」の割合と、4つ目の勉強時間が短くなり、こどもの遅刻する割合が2つ上がっているという傾向があります。そして、遅刻する割合が上がることにより、不登校や教室に入りづらいこどもの割合も増加しているということが推察されます。

分析といたしましては、経済的な困窮が、こどもの学習面や生活面、将来の進路等に深刻な影響を与えているということがデータとしても明らかになっております。

課題といたしまして、経済的な困窮により及ぼされるさまざまな影響を最小限にとめる必要があるということが課題として挙げられます。

13ページに移りまして、下半分のほうになりますが、「子どもたちが自らの可能性を追求できるまちづくり」ということで、戦略といたしましては、既存の制度や市全体の取り組みとあわせて、分権型教育行政の趣旨を踏まえ、子どもや学校のニーズに基づく、家庭状況や経済状況にかかわらず参加できる学習会の実施や、学校の取り組みへの支援、不登校児童生徒に対する支援などにより、子どもたちの学習習慣づくりや基礎学力の向上、社会的自立などを図るということを戦略として挙げております。

このめざす将来像といたしまして、全てのこどもが確かな学力を育むことができる状態、こどもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現ということが、めざす状態でございます。

で、目標といたしまして、具体的には、授業以外に学習しない児童生徒の割合を減らすことと、効果的な行政からの支援がなされたと評価する学校の割合ということを目標の数値にしてまいりたいと考えております。

説明につきましては、以上でございます。

○谷口部会長 ありがとうございました。

それでは、これより議論に入りますが、御意見がございましたらば、どなたからでも結構でございますので、挙手の上、お名前を名乗っていただいた上で、御発言はゆっくりお願いいたします。

それでは、何か今までのことで御意見ございますでしょうか。

藤田さん。

○藤田委員 こんばんは。公募の藤田でございます。長い間、きょうで最後ということ喜んでまいりました。

私のほうから4点ほどあるんですけども、まず、今、谷川課長がおっしゃった13ページなんですけれども、本当にこういう問題がたくさん出てきておりまして、董の地域といたしましても、こども食堂の立ち上げが、今順序進んでおりまして、その中で一番課題は、前回の区政会議でも申しましたけれども、お客さんっていわゆるそのこどもさんの貧困なのかどうなのかというようなことってというのは、そう明確にできる問題ではございませんけれども、その食事というものをもう1つのアイテムなんですけれども、私たちの場合は、居場所づくりにしたいということで、その時間内においてのこどもたちが自由に楽しく過ごしてもらえるような場所づくりが、この13ページの将来像をめざすというところがありますけれども、こどもが安心して成長できる社会というものの一環となればいいかなと思っているんですが、今回、私とこは信愛と産大がございまして、そういう学生さんとのボランティアという提携を今進めております。そういう意味では、このめざす将来像の一環として、着実に進んでいきたいと思っております。

だけれども、やはり、告知をするためのポスター、印刷代とかやっぱりお金がかかってくる、発生してくるわけです。当然食事に関しては100円なりは取っていくんですけれども、運営側の資金がどうしてもないんです。そういう意味のことをこの間も区政会議で本会議で申しましたけれども、助成金の申請等を考えておりますという

お話は大熊課長から伺いまして、今取り組んではいてるんですけども、実際的にそれがおりてくるかどうかはまだ不安定でございまして、だから9月24日第1回をやるんですけども、その資金に対しての具体的な支援というのは、区として大阪市としては、直結したものというのは、先ほどのデータの中にないと書いてあったんです。違う違う、ことしはあるって書いてあったかな。どこやったかな。今年度の対応というところに入っていたように思うんですけども、それはできるんでしょうかね。そういう支援づくりの、お金の支援というのは。もちろん、地域の社会福祉協議会には言っていることで、支援はいただけるとは思っているんですけども、やはりプリント代、印刷代、ポスター代となれば、やっぱり10万、15万のお金が必要になってまいりますので、ぜひともその辺のことの今年度の取り組みも教えていただきたいし、こういうことを今後取り上げていきたいと思っている地域もたくさんあると思いますので、その施策を来年には必ず予算化をしていただいたほうがいいように、実際にやっている者としても思いますので、その点2点、今年度できるのか、来年度その予算を必ず考えていただきたいということをまず申し上げたいんですが。

○谷口部会長　　ありがとうございます。

区役所のほうで、ひとつ答弁お願いいたします。

○谷川子育て教育担当課長　　ありがとうございます。ただいま、御発言がありましたたこども食堂のことにつきましては、董小学校の校長先生からもお話を伺いまして、本当に地域ぐるみで取り組んでいただいているということで、また詳しいお話を伺いたいなと思っていたところでございます。こどもたちが本当に学ぶといったときにも、まずは、おなかが減っていたらとても勉強するということまでいけないというようなお話も伺っておりまして、そういった食を通じた取り組みというのは非常に重要なことだと思っております。

現在のところ、この前、大熊課長のほうからもお答えがあったかと思いますが、社会福祉協議会の助成を検討いただいているところです。今後の予算化につきましては、

その実施主体ですとかやり方や内容なども伺いつつ、こちらとしてもできることは検討していきたいと思うんですけれども、御存じのように食べ物を使うというところもございますので、こちらでどういったことができるかというのは、今すぐお答えできるような状況ではありません。ぜひ、こども食堂の取り組みにつきましては、改めてお話を伺わせていただきたいなと思っておりますので、ぜひ、どうぞよろしく願いいたします。

○藤田委員 ということは、今年度はその助成金以外にはないわけですね。

○谷川子育て教育担当課長 今年度につきましては、予算化されておられません。

○藤田委員 今年度対応ということで○がつけてますやん、この返事の件で。6の2番。

○谷川子育て教育担当課長 ここで書いておりますように、区社会福祉協議会での善意銀行の制度を使った形での支援制度を活用していくという意味合いでございまして、区としての直轄の予算という意味ではないんです。申しわけございません。ぜひ私も内容は伺わせていただきたいし、ぜひお邪魔もさせていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○藤田委員 ぜひ、今おっしゃったことで、きょう言うてきょうで無理やと思うんですけれども、来年度の対応の予算措置ですか、それもぜひ今後考えていただかないと立ち上げるに対しての、食事とか食材に対してのお金は要らないんですけれども、そのまでの環境づくりにお金が要るんです。そういうのが今すごく実感してて、今、返事を待っているんです。善意銀行の結果が。6月に出したものがまだ返事が戻ってまいりませんので、それで、社協には言っているんですけれども、まだ返事がないんです。あかんならあかんで、次の対策を考えないと、お金が要りますので。そういうこと含めて今年度は。来年度、ぜひ。だって、今後続く問題ですし、ぜひともよろしく。それでいいですか、会長。その辺でありがとうございます。

○谷口部会長 どうもありがとうございました。

ただいま、藤田さんのほうからの御意見もいろいろ出てましたですけども、それに
関連しての何かございますか。

ございませんようでしたら、ほかのことでも結構でございますので、どうぞ、お手
を挙げていただけたらと思います。

奥さん、どうぞ。

○奥委員　すみません、公募の奥でございます。

先日、城東区で合唱祭をさせていただきまして、ことしからちょっと新しい形態で
運営をしていきましたけども、合唱祭とか第九演奏会というのは、僕たちが出演してい
る子らには、皆さんにこう声をかけて来てもらうようにはしてるんですけども、それ
以外のいろんな催し物、例えば城北フェスティバルとか、能楽とか、いろんな催し物
をする場合には、余り声かけをしないので、皆さんは一応区役所さんのほうからも広
報をやってはもらってるんですけども、なかなか皆さんに知れわたっていませんね。
そういったいろんな催し物をするに当たって、やっぱりもったいないので、何かもう
少し広く区民が知れるような広報をできればお願いしたいなあと思うんですけども。

○谷口部会長　区役所、どうですか。

○冷水市民活動支援担当課長　今、奥委員のほうからおっしゃられました部分でご
ざいですが、広報につきましては、当然広報紙でもやっておりますし、ホームページ
にも載せております。また、チラシ等につきましては、各小学校、学校のほうにも配
付をいたしております。また、地域活動協議会なんかでも配付をさせていただいて、
できる限りの現在、広報はしておるつもりでございます。もし、新たにこういうのも
あるやないかということがあるのであれば、また提案をしていただければ、できる範
囲で行ってまいりたいと思います。

今、行っておる名曲の祭典におきましては、ケーブルテレビにもうちのほうから声
かけをしたり、新聞の投げ込みをしたり、また24区にもチラシの配付等をさせてい
ただいておりますので、その辺、御理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○谷口部会長　　ありがとうございました。

奥さん、そういうことでよろしゅうございますか。

ほかに。

どうぞ、どうぞ、遠慮なく。きょうで最後やから。

○藤田委員　　まず1点は、ことしの春でしたかしら、新区役所ができてコンビニがあって、四つ角に危ないという話があって、それと点字ブロックがずっと設置をしていただいたんですけども、まあ見事に点字が東側しかついていないんです。この地図がありますでしょう。この地図、この地図。この地図の城東区役所が、消防署のマークありますやんか、その真正面の正面玄関の東側しか点字ブロックしかついてないんです。その次、出たら、正面からすぐ左側、いうのは西側へ行くところは点字ブロックは一切ないんです。区役所の周りが。もう見事です。もう本当に障がい者の方が何で東ばかりから来るねんって言いたいぐらいに、その玄関から左側、西側が一切ありません。まして、裏側通ってもないんです。

そういう意味で、先般、地域のここのお祭りがあったときに問題になったのは、障がい者の方がその西側のコムズの前の四角い交差点、ちやうちやう、四角のブロックのところからセンターの歩道じゃなくて、中の車道を悠々と歩いてはったんです、つえを持って。危ないからいうことで、こっちは持って来たとおっしゃってましたけれども、それから区役所の、おかしいでしょ。その正面入り口の東側しか点字ブロックがないんです。そこからきれいに左側、西側ないんですよ。皆さん、帰りし行ってください。そんなあほなことないと思いますので、ぜひともこれは、この区役所の周りだけではないと思いますので、できたら各地域活動協議会に物を申しただいて、各単位のそういう安全安心の一番危ないところとか、そういうものの一回調査を全部でやってみてはいかがかなあと思いました。特に区役所の場合は、そこが変です。ぜひとも、また一度見ていただきたいと思います。

それと、新区役所とともにですけれど、その裏側にコスモちゃんのお花の花壇ができています。コスモちゃんの前に行ったらコスモちゃんは見えません。上に上がらないと見えないんです。それぐらいに、花壇のつくり方が平たんなんです。だから、こう斜めになってコスモちゃんが見れて普通なんですけれども、あの花壇のつくり方はおかしいです。一年目過ぎるとこなので、ぜひともこの改良はお願いしたい、そうなかったら、コスモちゃんの花がいつも生きてきませんので、その点も2つ目、よろしくお願いいたします。

もう1つ何だっけな。忘れました。ひとつ、sonだけです。

○谷口部会長　　また思い出したら言う、はい。

じゃあ、今しゃべられたことについて、区役所のほうお願いします。

○冷水市民活動支援担当課長　　そしたら、コスモちゃんの花壇についてです。

ちょっとこれにつきましては、公園局とはなびとコスモスタッフとの協力で作ったような、大きな工事ではちょっとやっておりますんで、ああいう形、というか傾斜まではできておりませんが、一度公園事務所と相談しながら、できる範囲でどういう形があるか、ただ、今もうほんま確かに花も伸びて、顔がわからない状況ではございますので、花の入れかえも含めて見えるように考えてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○谷口部会長　　意見、続いて、はいどうぞ。

○大谷総務課長代理　　総務課長代理の大谷です。

点字ブロックの件について、お答えさせていただきます。

新区役所ができたときに、点字ブロックなんですけれども、まず、蒲生4丁目の駅を拠点に区役所のほうまで点字ブロックが伸びておりまして、東側を通過して、総合案内、受付までの一本が引かれておったんです。それが総合案内からその先のセンターでありますとか、図書館のほうになかなか行けないというような意見がございました。もともとのコンセプトは、総合案内まで来られたら全てを案内するというコンセプト

で設計されておりましたので、そこら辺、そういうことにはなかなか区役所が休みの日にセンター等もあいておりますので、それはということで、急遽、昨年度予算のすき間を見つけまして、建設局なりと協議させていただいて、それぞれの施設へ、それと南側、宿日直の窓口がありますので、そこまでということでつけさせていただきました。これは、拠点を蒲生4丁目の駅にしておりますので、それより先まで進みますと、今度どこまで行くかということにもなりますので、そこら辺は今後の検討ということでさせていただきたいと思います。とりあえずこれらの部分につきまして、緊急でそういった対応をさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

○谷口部会長　　ありがとうございます。

藤田さん、今のお答えでよろしゅうございますか。

○藤田委員　　事故がおこらないようお願いいたします。

○谷口部会長　　ありがとうございます。

ほかに、いかがでしょうか。

どうぞ。上島さん。

○上島委員　　今福地域の上島でございます。

今、今福地域では、高齢者ということでは一番、高齢化率が一番高いところではありまして、それで一番今難儀しているのは、今後これからその高齢者対策をする上で、やはり独居老人が多くなってきている。それで、やはり亡くなった方も、もう家族葬でされてしまっていて、亡くなったんか、生きてないのか、留守なのかどこもわからないというような状況がだんだん続いてきている。そしたら、そのコミュニティーとか、その人とのつながりも、昔今はその班長さん等が葬式の場合には、仕切ってやっていたのが、そういうのも隣も知らないというような状況が続いてきているということ。それで、やはりその隣は何する人ぞで、例えば空き家があると、どっか引っ越ししはったと、その連絡先もわからず、空き家のままで何年もたってしまって、ねこのすみかになってたりとかいうことで、虫がわいてきたりとかいうことで非常に困っている

ということで、で、どないしたらええかと。

税務署にちょっと固定資産税払ってるといふところにとりあえず連絡してくれへんかと、こちらとして教えることはできません、役所のほうでも教えることができませんいふことで、そういう問題が物すごい山積してきているいふことで、それを何とか役所のほうで対応していただけないかなといふのが、確かにその守秘義務か、その個人情報の問題で保護法か何かでしてるんですけども、実際、地域に住んでいる者としては、そういう情報が逆にネックになってきている状態で、何でいうたら、昔の場合でしたら民生委員された人、一軒一軒訪ねて、世帯票出してください、それでこうこう、ああそうですか、息子さんどこ行かれましたかとか、そういう情報をどんどんどんどん民生委員さん集めて、何かのときには民生委員さんに相談すれば、そういう情報が得られていたといふのがあるんですけど、個人情報保護法いふことで、逆にしたら民生委員、来てもろうたら困りますいふところもあるわい。何でや言うたら、生活保護を受けてるのちゃうんかとかいふようなことで、逆に民生委員さんの動きも物すごく難しくなっている。で、やはりお聞きしてもそれはお答えできない、それから逆にしたらマンションでもワンルームマンションでインターロックになっている状態で入れないと。で、このマンションに誰が住んでんのかも何か表札も上がっていない、名前も上がっていないような状況で、それをコミュニケーションをどうやってとれといふのか、そういうのが物すごい多いですね。

だから、役所で例えば、今福地域で亡くなった死亡届が出るわけですよ。ほんならその死亡届、いついつ亡くなりましたといふことだけでも報告、こちらのほうに、町会のほうに報告だけでもあれば、今福の全体として報告だけあれば、それだけでも何丁目の何がいついつお亡くなりになられた、町会長御存じ、報告だけしときますいふようなことがやっぱり必要なんではないかなと。

どこに転居されたんかもわからへん、何でや言うたら、何でおまえらに言わなあかんねんいふような状況ですから、だからやはり、コミュニティーの豊かな城東区を

つくるためにも、そういうのは役所がもっとバックアップしてもらわんことには、やっぱりそれ何ぼ守秘義務、どうこう、個人情報の問題だけでは済まない問題がいっぱいあるんじゃないかなと思いますので、その点では、役所の動きが今後どのようにしていただけるか、ちょっと教えていただき、あるいは今後どのようにしていただけるのか、それを教えていただきたいと思います。どうも。

○谷口部会長　ありがとうございます。

それじゃあ、区役所のほうお願いいたします。

○米田市民協働課長　こんばんは。市民協働課長、米田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

今、上島委員からございました地域におけるコミュニティーのあり方とか、特に高齢者の方の問題とかいったようなこと、それとあと、空き家対策ということだったと思います。

まず、空き家対策のほうから簡単に私のほうから御説明をさせていただきます。

昨年、いわゆる空き家法が成立をいたしました。それに基づきまして、現在、私も市民協働課で、いわゆる空き家対策をやっております。特に、我々も一番危惧しておりますのが、お住まいでない状態で、なおかつ管理の非常悪い状態、中には屋根がもう既に抜けておって、私も何軒か見に行きましたけども、それこそ風が吹いたら倒れるんじゃないかというようなところもございますし、それは以前から都市計画局で対策を打っておった案件を区役所のほうに引き継いでおりまして、現在、そういうところについては、持ち主の方を順番に手繰っていきまして、そういう方に対しまして、適正な管理に努めてくださいということで、文書でもってお知らせをしたり、場合によっては電話をいただいたり、お話をさせていただいて、対策を打っております。で、幾つかの物件につきましては、既に解体等をされまして、正常な状態といえますか、安全な状態になってきているところもございますけども、中にはなかなか、所有者の方まで突きとめてるんですけども、所有者の方が、解体する費用がないとかいったよ

うなこともございまして、非常に苦勞している案件もございます。

で、そういった中で、待ちの姿勢だけではいかんなどということで、実はこの春から私ども市民協働課のほうで、職員が各街区に順番に出向きまして、地図を一つ一つ潰していきまして、外見から見ただけになるんですけども、空き家かどうかといったようなところ、特に危険家屋がないかといったようなところ、いわゆる悉皆調査ということで、全地域既に回らせていただいて、ある程度地図におとさせてさせていただいております。ただ、外から見た目になりますので、具体的にどうかというのはわからないんです、実はそれに加えて、水道局のほうから、閉栓状態、水を供給していない状態のところのリストなんかもいただきながら、住んでおられるかどうかといったことについては、ある程度のところまでつかめる状態になってきております。

で、私も直接今、区長と一緒に地域を回らせていただいている中で、地域のほうからそういう非常に危険家屋もたくさんあるよという話をいただいておりますので、具体的にどの家屋かということがある程度突きとめられれば、そこの登記簿謄本をとり、その登記簿に載ってる方のお名前を順番に、空き家法に基づいて手繰っていただけますので、で、手繰っていた先にその方がいらっしゃったら、まず文書でお知らせをして、そのときも実際の家屋の写真もつけて、現状を確認をしていただいた上で管理をされる方として適正な管理をしてくださいといったようなことでの対策は打たせていただきます。ただ、非常に調査に時間かかるようなこともございまして、私どものほうに具体的などここの家屋というふうにおっしゃっていただければ、対策がとれることもございまして、一度御相談いただければなあというふうに思いますので、よろしくお願いをしたいというふうに思っております。

それとあと、高齢化、特におひとり住まいの高齢の方がたくさんふえてきているということで、おっしゃるように今福地域、非常に高齢化率が高い。で、これ全般的にいえる話なんですけども、集合住宅のところが高齢、なおかつ独居の方がふえてきています。特に、今福については、大きな市営住宅が幾つも幾つも建っておって

ということでも、地域に出向かせていただいたときにもお聞きはしてますし、あと、森之宮のほうもUR団地を中心に非常に高齢化の方が多いということになっとるんですけども、なかなか地域のほうでもいろいろ御苦勞はいただいているのは、私ども十分承知はしてます。1つは、私、森之宮のほうの担当もしておりますので、転入をされて来られて、もうつき合いは一切ええねんと、もう町会ももちろん入らへんし、人とのつながりも要らんねんというような、極端なことを言うとそういう方もいらっしゃるというふうにお聞きはしています。ただ、地域としてもやっぱり人のつながりが大事よということで、いろいろとあの手この手でお話はしていただいているんですけども、なかなか町会にも入っていただけないし、それこそインターホン押しても出てきていただけないといったような状況もお聞きしております。

そういう意味でいいますと、非常にコミュニティーを大事にするのは、これからどうしていくんだということで、ちょうど曲がり角に来ているのかなあというふうに私ども思っております。こうしたらいいですよというなかなか、今も私のほうからお答えするようなことないんですけども、地域の実情いろいろお聞かせいただきながら、御相談させていただいて、我々やっぱり地域のつながり、横のつながり、「向こう三軒両隣」、これが重要だと思っております。先日の防災の部会におきましても、そういう御意見をいただきましたので、できるだけそういうことを大事にしていきながら、もし何かあったときに地域の中で、いろいろ地域の力が発揮できるようなことといったようなことも私ども区役所も一緒になって考えてまいりたいなというふうに考えておりますので、どうかよろしくお願いをしたいと思います。

以上でございます。

○谷口部会長　　ありがとうございました。

上島さん、今のようなお答えでよろしゅうございますか。

○上島委員　　もやがかかったような状態ですけども、やはり問題は、役所だけの問題ではないんで、これは。やはり、近隣の輪をもう一度やっぱり見直さなければなら

ないというのは当たり前なことなんで、これをやっぱりちょっともう一度原点に戻らなければならないのではないかなと思っています。それがまず最初で、隣は何をする人ぞをまず調べていこうかなというのをちょっと各町会単位ごとで各班ごとで一回まとまっていただけるように頑張りたいなと思っています。

以上です。

○谷口部会長 御苦勞はんでございます。

自分ともマンションですけども、今、上島さんおっしゃったと同じで、全く高齢化、どんどんどんどん上に行っています。90歳以上がもう既に3人もいてはるし、100歳を超える人がいないからまだいいかなと思うぐらいですけどね。これ、いろんなさっき、民生委員さんのお話も出ましたけど、民生委員さんのほうも情報不足やね。で、本当に。

○上島委員 情報がとれない。

○谷口部会長 とれないかなあ。で、役所のほうからいろいろ資料も町会長だけが持つとけよというやつをいただいたり、あれをずうっと見るんですけども、大分抜けてますなあ。人に言えることじゃないんですけども、ああいうのを見とって、まさに隣はどなたという感じですね。

それから、最近の若い人って言ったら怒られるかもしれないけど、名前を出さない。何ですか、あれは。

○上島委員 表札がまずないです。

○谷口部会長 まず、郵便局、困るやろなと思うんですけどね。番号だけね。で、マンションなんかの場合やったら郵便受けは全部1階にありますやん。それでもちゃんと名札を入れるところがあるわけ。それでも番号だけ。あんなんが並んでたら、間違えて入れたりするやろうけど、ないかなあ。けどこれは、やってください言うても、無理ですわな。

○上島委員 やっぱり、いやいや、それもやっぱりもう一度原点に戻ること。

○谷口部会長 戻って、それこそ、そういうマンションやなんかやったら、管理組合があるんやから、せめてお互い名前ぐらい言おうよと。逃亡者やったら別やけどね。仮名でもしといたらよろしいんやけど。

○上島委員 配達物で問題があったんが、結局所有者はその会社の所有者で、そこに独身が2人住んでるんですわ。そしたら、その独身の名前が上がってないもんやから、荷物を、配達物の荷物をその向かいのマンションの人に預けたりとか、上の階に預けたりとかするというのがあって、やはり、それでもう難儀してますいうて。で、私も名前知らないです言われて。そういうのがあるというのが、実際、隣の人で。

○谷口部会長 葬式がなくなってきたいうのなんか、もってのほかの話やけども。

○上島委員 もう1点その、今80歳以上の高齢者の名簿を社会福祉協議会のほうで出したんですけども、問題はこの人が生きてるかどうか、全部確認やっぱりとれてないというのが現状ですね。だからその方が、連絡しようがなくて、確か老人ホームかどっか入っておられるはずなんですけどということで、その息子さんに連絡もできてないいうので、とりあえずは一応去年のデータを基づいてそのデータの中で何件か調べるんですけど、得られてないちゅうの、情報が確認できてないいうのが5、6人いらっしゃるんで、せやからやはり、そういう面で何ぼ高齢者の。

あ、それから、もう1点、その今度、介護のホームヘルパー、老人ホームがうちの町会でできるわけです。1つは、認知症のグループホームなんですけど、もう1つは、その老人ホームができるんですけど、住所をこちらに移されたら、今福の4の1町会の住民になるわけです。だからその方が、移されてるのかどうか、あるいは、うちの町会の人があるところへ行って、もうそちらにもう住所を移している可能性があるわけです、老人ホームのほうに行って。ただ、2軒家はあるけども、自分とこの家は残ったままやけども、住居はその老人ホームのほうに住居を移しておられる、何でやいうて、郵便物とかそれを受け取るために、もうそちらに住所を移してるいう可能性もあるわけです。そしたら、実質はそこには住んでおられないいうのがある。だから、実際その

人が老人ホームに行かれてるというのはわかってんねんけども、高齢者のお祝い品を渡すのに、どないして渡したらええのかというのがあります。

だからやはりそういう面での今後の対応というのは、やっぱりどんどんどん難しくなってきた、ということは、何でかいうたら、役所がその人が住所変わられましたよ、連絡さえあったら。ほんで、息子さんの住所、緊急連絡先を役所が必ず持っているのかどうか、持ってたらそれをぜひ欲しいわけですよ。それ、なかったら、何ぼ個人情報はどうこう盾に取られてする問題ではないわけです。それをつくづく感じますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○谷口部会長 区役所、どうですか。

○奥野副区長 副区長の奥野でございます。

まさにそういうふうにして、個人情報の壁というのは本当に高いものがあるわけですが、そういう意味では、先ほど、いろいろと漏れがあるとは言われましたけれども、まずは、取っかかりじゃないですけども、社会福祉協議会で今、名簿を3年にわたって収集しております。それを一応、その方の同意を得てということで、また社協のほうで確認してということで、それでも漏れがあるというのは、もう恐らくそこの中でもタイムラグがあったりして、なかなか調査時点と、そしてもう今現在でも少しづれも出ているのかと思いますけれども、おっしゃっておられるように転出届とか死亡届をもう開示するというのはなかなか難しい問題もございます。まずは、そういうお気持ちはすごくありがたいことなんですけども、そちらの名簿のほうを活用していただきながらやっていただければというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

また、これから更新方法についても、市の中でも更新していくのか、していかなければならないと思いますけども、その辺のところは議論しながら、今は順々に高齢者であるとか、あるいは障がい者の方であるとか、そういったことを3年計画でやりますけども、確かことしが最後の年だと思いますので、また来年どうするかというのは

オール大阪でも議論されますし、区でも考えていきたいというふうに思っております。

○谷口部会長　　ありがとうございました。

それでは、奥さん、すみません、どうぞ。

○奥委員　　すみません、何回も。

この区民ホール、できまして1年半ぐらいになるんですけども、立派な区民ホールなんですけども、こう言ったら失礼ですけども、プロのオーケストラにしたら、1つ欠点があると。いうのは、小ホールがないということですね。

ほんで、これは最初いろんな設計であったかどうかは知りませんが、当初は、城東会館と区民ホールがありまして、大体小ホールいうたら、大体200人前後のホールなんですけども、城東会館にはそれぐらいのスペースがあったと思うんです。それから、今、区民センターも非常に部屋取るのが大変ですけども、以前の区民ホールと城東会館にあった小部屋をあわすと、以前よりも少なくなっているんじゃないかと思います。それから、確か城東会館には、僕、城東会館がつぶれる寸前にこっちへ来たので、余り覚えてませんが、多分和室があったような気がするんです。だから、そういった面ですれば、この区民センター、新しくなったんですけども、なかなか市民になかなか利用できないようなホールになっているんじゃないかと、僕は思います。だから、できれば、今その遊んでいる、遊んでいるじゃなしに空き家になっている前の区民ホールのほうを何かもうちょっと有効利用して、皆さんが集える、そういう200人前後の集会にもぱっとできるように検討していただければと思いますけれども。

以上です。

○谷口部会長　　どうでしょうか、区役所のほうで。

○米田市民協働課長　　市民協働課長の米田でございます。

新区民センターのことでございますけども、この新庁舎の建設に当たりまして、区民センターも含めて、どういう施設がいいんだということで、実は平成21年か20年だったと思うんですけども、住民の皆さんからお声を聞いて、特に音楽重視の大ホ

ールが欲しいというようなことで御議論いただいた上で、それを具体的な設計に落としていって、現在の区民センターにつながっておるわけでございます。

おっしゃるように、当時、旧の区民ホールとここにありました城東会館と2つございまして、部屋の数なんかも今と比較するとどうなんだという問題はあるかと思いますが、当時、この施設を建設するに当たりまして、私も総務課のほうにいましたので、大規模事業評価ということで、大阪市のこういう施設を建てるときの評価委員の先生に見ていただいてということになっております。その結果、予算総額ですとか、延べ床面積とか、そういったものについても上限が決められました。したがって、その中でいかにいろんな機能を取り込んで区民センターの各諸室を整備するんだということで、いろいろと設計会社とも知恵を絞りながらやってきたのが、今この新区民センターでございます。

いろんな機能、例えば、旭の区民センターに行きますと、大ホールの横に小ホールがあるというの私も存じておりますけれども、何せ大ホールをつくと面積的に非常にそこで食われてしまうんで、小ホールについては、一定諦めざるを得なかった。そのかわりに大会議室ということで、100人程度の小さなコンサートができるぐらいの部屋ということで、大会議室を整備し、あの部屋については防音の対策もっておりますので、そういうことでの利用もできるということでございます。

基本的には、区民センターというのは、区民の方が、あるいは住民の方が利用していただくという前提でございまして、いわゆるプロのコンサートとかというようなことには、なかなかなじまない施設ではないかなあというふうに思います。一定そこは、利用者というところで見ると、基本は住民の方が例えば合唱祭をやったり、例えば子どもたちが吹奏楽をやったりといったようなことが前提になりますので、そういう意味でいいますと、それはプロ仕様にしますともっと利用が上がるんかもわかりませんが、やはり基本的な目的は区役所の附設会館ということで、市民利用だということで、その辺のところは御理解いただきたいかなあというふうに思っておるところで

ございます。

それとあと、旧の区民ホールでございますけれども、実は、旧の区民ホールについては、新区民センターを整備するかわりに旧の区民ホールについては閉鎖をするという事は、これはもう大阪市の方針として決められておるものでございます。旧の区民ホール自身も、耐震としては新耐震をクリアしておりますので、あのまま使おうと思えば使えたんですけども、住民の皆様の総意でもって新区民センターの整備をするということでございましたので、財政当局との関係でいいますと、旧の区民ホールについては基本閉鎖ということで、まだその先の利用については決まっておられませんけれども、そういう約束がある中でございますので、その辺のところは御理解いただきたいと思えます。

以上でございます。

○谷口部会長　ありがとうございます。

それと1つ、教えてください。

1階の本来、事務所やるあそこ、あそこ、前の。

○米田市民協働課長　城東鶴見工業会。

○谷口部会長　そうそうそうそう、あの件は、まだ進展してないんですかね。

大事な1階、あいたまま。

○縣総務課長　総務課長の縣でございます。

御指摘なのは、ちょうどこの区役所の建物の1階の西側ですか、西側、南側から入っていただくと西側のところの端のところは何部屋か部屋があいてまして、使用されていない状態になっております。

こちらのスペースにつきましては、この区役所の土地に一部ですけれども、もともと城東鶴見工業会さんが建物を持って土地も持っておられたと、で、一応建物を建てる時のお話し合いの中では、城東鶴見工業会さんは、その土地を建物を建てるために提供していただいて、かわりに区役所内に城東鶴見工業会さん用のスペースを提供

しますよという基本のお約束をさせていただいて建設をしてきたと、当時建設を担当しておりましたのが、市役所の中の市民局というところがあるんですけども、そちらのほうとそういう基本のお約束をしておったんですが、実際にいろいろとその土地の関係であったりとか、建物の賃借料とかをやってきますと、ちょっと当初とはやっぱり若干違った状況が出てきたようで、最終的にそこに入るかどうかというところがまだまとまっていない状態ということで、まだ今あいたままの状況になっているというように聞いておるところでございます。

以上です。

○谷口部会長　　まだかなりかかるというようなことですか。

○縣総務課長　　申しわけありません。どの程度かかるかということについても、ちょっとはっきりとはまだ聞いてないというところでございます。

○谷口部会長　　あそこに、喫茶店でも、コンビニでも入ったら、どれだけ人が入ってきてくれるかと思うんですけどね。食堂でもいいんですけどね、本当は。もったいないことですね、お金はどんどんかかるとるし。

すみません、余分な話でした、ごめんなさい。

ほかにございませんか。

どうぞ、岡田さん。

○岡田委員　　公募委員の岡田でございます。

この部会とそれから全体会で南部地域のほうの何か活動、豊かな魅力あるまちづくりなので何かやろうということは、何となくここの部会では一致してて、全体会でも何かやりましょうということになって、アイラブ城北川にはなったけども、それとは別にと
いうか、広げた感じでというか、寝屋川とか平野川とか何かそこで音楽会やるとか桜を見るのがええやんかとか、いろんな話が出てたと思うんですが、この9ページのところ見させていただくと、魅力あるまちづくりで、載せるとしたらここになるのかなと。あのときはこの部会で話ししましょうとか、何か、一応合意があったように思う

たんですけど、あれがどないなったのかということをお聞きしたいです。あの合意がもう全然なかったからあれはないということなのか、いや、継続で審議していきましょいうことなのか、そこら辺をちょっと教えていただきたいです。

○谷口部会長　　すみません、それじゃあ、区役所のほうから。

○冷水市民活動支援担当課長　　市民活動支援担当の冷水です。

岡田委員のおっしゃられました南側地域ということですが、確かに部会のほうでも出されまして、その際、お答えさせていただいたのは、南側でできるところからやっていきたいと思いますということ、今年度は「音楽の祭日」を諏訪地域でやらせていただきました。

おっしゃられているようにその平野川を使ってというのは、城北川と平野川の場合、遊歩道とかやっぱり環境がかなり違うかと思しますので、なかなかその平野川での形というのは難しいかなあとは思っております。

ただ、今実施している例えば、スポーツカーニバルとか、まだこれも2回やってこしまだ3回目、今後安定したものとして多くの区民が参加できるようになった段階で、南側の公園なりも検討してまいりたいというふうには、前の段階からは考えておるんですけど、そこはまだ明確にということではございません。ただ、できるところから音楽の祭日のように、できるところから南の地域、あればまたやっていきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○谷口部会長　　ありがとうございます。

藤田さん。

○藤田委員　　公募の藤田です。

今、岡田さんおっしゃったことには、区の立場ではないんですけども、たまたま、ゆめ～まち～未来会議としては、市民協働として区民のまちづくりをやっているグループなんですけれども、今年度から立ち上げた事業に「橋と川のプロジェクト」とい

うのをやろうとしているんです。それで今城東区の川が5本、それで橋が57あるんですけれども、それをいろんなことを調査しもって、現在と未来、過去と現在というふうなことで今調査をしとって、いいでしょう、来てください。ほんで、そのパワーポイントを今つくりつつありまして、課長に協力していただいて、いろんなことの情報をつかんで、何とか城東区はやっぱりこの川、橋が本当に多いんです。ただ、高速道路、上、走っていないんです、この城東区だけ。わかります、高速道路、走っていないんです、上が。明るいです。そういうすばらしい区なんで、そういう意味でその橋と川で何とか1つの南側の町おこしもならないかなというふうには考えてるんで、ちょっとまた違う角度、区じゃないですけど、そういう市民活動も今スタートしていますので、注目をしていただいたらありがたいんですけど。

部会長、勝手なこと言ってすみません。

○谷口部会長　いえいえ、とんでもございません。

城東区、ちょろっとだけ走ってんで。距離にしてちょっただけ、関目地域のところですぐ旭区になりますけど。すみません。

○藤田委員　それじゃあ、4つ目で思い出しまして、すみません。

董の藤田です。ちゃうちゃう、公募の藤田です。

もう1つ言いたかったのは、8ページ、9ページあるんですけれども、違う、8ページちゃう、どこやったかな、10ページ、11ページなんですけれども、本当にこの防災というのはいろんなことあると思うんですけれども、私はやはり今、先ほどのこども食堂と関連はするんですけれども、食品ロスという問題、環境問題をぜひとも来年度の大きな施策の中に挙げていただいて、それがあ意味、またこども食堂にも戻ってきますので、食品ロスという問題が大きく環境、自然を破壊をしてるんだというぐらいの大きなセクションの中で、大きく展開するような環境についての施策が本当に少ないですね、城東区のこのいろんな、いつも出てくるんですけれども。防災とか地域は出てくるんですけど、環境問題を取り上げるようなことが必要だと思います

ので、ぜひまた来年度に向けてそういう環境、食品ロス、実は城東区の女性会でことし1年間、環境問題を取り上げてやろうとはしてるんですけども、ぜひともこういう食品ロス初め環境問題もまた区政会議として、区政として、取り上げていただくとありがたいかなと思いますので、よろしく願いいたします。

私から4つ目、終わりました。

○谷口部会長 御苦労さまでございました。

ほかの方、どうですか。

藤本さん。

○藤本委員 公募の藤本です。

何か、今福南かな、のほうからアスベストの問題で住宅かなんかで吹きつけがあるそうなんですよね。それでちょっと補修されてて見えないように、みたいなふうにはされてるんですけど、住宅にしろ、普通の家にしろ、建設の要するに労働者の人がやっぱりアスベストにかかっていらっしゃるということで、肺がんになったり、そういうことがあるんです。これからやっぱり老朽化する建物が多くって、私たちの地域でもあちこちで解体されているんですけど、その解体の、何ていうかな、基準とかいろいろ多分あると思うんですけど、ただこの、何ていうかな、布みたいなのをしてるといっただけで、お水でざあっとしてるいう、かなり、何ていうかな、全体的にこの、何ていうかな、汚くなってるケースというか、走っただけでもかなりちょっとのどがいがらっぽくなるようなそんなときがあるんですけど、そういう何年ぐらいに建てられた建物がアスベスト使われてるとか、いろいろ多分御存じだとは思いますが、そういう住民がやっぱり実際そういう解体のときに、かなりその大気というか、そういうアスベストを吸うという危険性もありますので、その辺のことをやっぱり城東区でも、高齢者も多くなりますし、そういう中でどういうふうに対応していらっしゃるのかなというのがあるんですけど、安全で安心にさせていただくというふうをお願いしたいなと思うんですけど、ちょっとその辺もお聞きしたいなと思うんです。

それと、信号なんですけど、この間、関西スーパーの前を目の悪い方が通られていたんですけど、そのときに青の信号なんですけど通られなかったんですよね。それで、一たん言うてあげよう思うたんやけど、赤になってしまったんですけど、以前は何か音が鳴ってたいうか、音楽っていうか、メロディーが鳴ってたような気がするんですけど、目の悪い方はよく御存じだから、今青やけど危ないから通らないで次の青になったときに多分通られたと思うんですけど、だからそういう、そのメロディーが鳴ってたような気がするんですけど、今は鳴らないから、そういうの鳴るようにはできないのかなというふうに思うんですよね。それもちよっとお聞きしたい。

○高田委員 今福鶴見の交差点ですか。

○藤本委員 そうです。

○高田委員 鳴ってると思うんですけどね。

○藤本委員 鳴ってます？

○高田委員 小さいね、音が。

○藤本委員 関西スーパーの、そうそう、今福の関西、交差点いうかこっちの交差点じゃなくて、小さいほうの交差点。そうなんですか。何かそういうのを見たので。

○高田委員 鯉江東の高田です。

私も通勤のときに、大きい交差点はメロディー鳴っているんですけどけれども、小さいところは、ふと発見したら、すごい人通りの気配を感知してから渡ってはるみたいなので、やっぱり音って大事なんだなと、小さいところの信号でもそうやって、やっぱり視覚障がい者の方は、すごい苦労されてるんだなあって、だから点字の問題もあったから、私ら健常者にとったら全然関係ないけど、その立場になったときに、すごい危険と隣同士で生きてはんねんなあ思って、ちょっとずつ点字もメロディーもふやしてください。

○藤本委員 それと、ごめんなさい。こどもの問題で、先ほど説明されてたので、

1 2 ページですか、教室に入りづらいとか、遅刻とかいうのとか、成績の問題とかだ

と思うんですけど、これはアンケートとかとられたりとか、そういう実態っていうのがわかっててこういう現状なのか、実態がわかっているのであれば、どういうふうに対処していくのかとかいう専門家も交えて何かしていくという方法でやっていかないと、なかなかこれ大変な問題だなと思うんですけど、その辺を何か大きな同じ学校行っているお姉ちゃんとかお兄ちゃんが指導するとか、あるいは何かその地域ぐるみで何か取り組むというような、そういうことをしてやっていけばいいのか、ちょっと私もよくわかりませんが、その辺がちょっとかなり深刻な問題につながってるんじゃないかなと思うので、どういうふうに改善していくのかなというのを、アンケートかなんかとられてしていく、実際の声といいますか、それを聞いていったほうがいいんじゃないかなと思うんです。

よろしくをお願いします。

○谷口部会長　　区役所のほう、ひとつお願いできますか。

○谷川子育て教育担当課長　　子育て教育担当課長の谷川です。

今、藤本委員さんのほうからありましたこどもの問題、教室に入れないこどもさんですとか、遅刻の問題ですけれども、各学校から多分調査された内容で教育委員会のほうで持っておられる状況につきましては、区の担当にもデータをいただいておりますので、大体どれくらいの方数がいらっしゃるかということは、こちらで踏まえております。そういった対応につきましては、どう取り組んでいくかという問題なんですけれども、現状といたしまして区のほうでは不登校のこどもなどの課題を抱えるお子さんに対しての居場所づくり事業ということで、事業をやっております。そういったノウハウや、かかわりの実績のある事業者に委託をしているところでございまして、それも昨年度から始まったところなので、まだ実績としては十分に対応できているとは、私自身も言いがたいなとは思っています。各学校さんですとか、保護者の方と十分連携しながら取り組んでいく必要がございますので、少々時間はかかりますし、その事業自体についても周知がまだ十分徹底されていないかなということも考えており

ますので、そこについては粘り強く周知をしながら進めていきたいと思っております。

先ほども言っていたように、そういった方にかかわるときに、ある程度、どういうふうにかかわっていくかというようなノウハウが非常に重要ななと思っております。そちらについては、ことし委託を受けていただいている事業者がかなり各地で事業をされておられて、そういった子どもさんに実際にかかわって居場所づくりもやっておられるということです。そのノウハウをこちらも十分お伺いしたり、学ばせていただきながら、今後の展開を広げていくやり方についても検討していきたいと考えているところです。

単に居場所だけということになりますと、その子どもさんがそこまで行くということに対して、かなりハードルが高いです。今年度につきましては、その居場所づくりに加えて、学校に行ってはいるけど、例えば保健室などには行けるけど教室に入れないとか、そういったお子さんに対して、保健室にはいらっしゃっているような方に対して相談も受けていくというようなことで、できるだけ予防的なところについても内容を広げて展開をしていただく予定です。こちらも本当に模索しながらやっているところですが、今後とも地域の方々にもさまざまな協力をさらにお願ひすることがあると思いますが、ぜひ御協力をよろしくお願ひしたいと思っております。

以上です。

○谷口部会長 ありがとうございます。

藤本さん、それでよろしいですか。アスベストのほうか。ちょっと待ってください。

○縣総務課長 総務課長の縣でございます。

申しわけありません、アスベストのこと余り詳しくないんで、ちょっと間違っただ説明するかと思います。

アスベストにつきましては、多分昭和40年、50年代ぐらいですか、非常に耐火性といって火に強いということもありますので、いろんな建物、例えば学校等もそう

なんですけれどもアスベストを使用した建物というのは、結構たくさんつくられたと聞いています。しかしながら、その後、アスベストが飛散すると非常に先が尖っているということで、肺の中に吸い込んだりするということが健康被害があったりと、いろいろ問題になりました。確か大気汚染防止法か何かで改正されて、国レベルでアスベストの対策をやるということで、建物の解体のときもガイドラインができて、周囲の皆さんに御迷惑がかからないような形でやっていると聞いておったかと思います。すみません、不十分な情報ですけれども、よろしくお願ひします。

○谷口部会長　　ありがとうございます。

お時間のほうも8時半近くなりましたので、ほかに御質問がなければ、区長のほうでまとめていただきたいと思いますが、よろしゅうございますか。

○松本区長　　熱心な御議論といたしますか、意見の表出といたしますか、ありがとうございますございました。

多岐にわたる御意見を頂戴いたしたところでございます。その中で特に私が印象に残りましたのは、また藤田委員のほうからございましたこども食堂の話、私も昔、子育て支援部長というのをやっけていまして、児童虐待であるとか子育て支援であるとか、そういったものにかかわっておりました関係もありまして、このこども食堂についても興味を持って、関心を持って、いろいろと情報収集をしてたんですけども、確かにこどもさん方、ニュースか何かで見たんかな、非常にそのおいしそうに御飯を食べて、お互いに交流するというだけではなしに、第2部というふうなところで、今度はこどもさんを家に帰した後、今度お母さん方がそちらのほうにまた集まって情報収集されて、子育て支援にもつなげていくと、あるいは虐待防止なんかにも効果もあるというふうな非常にすぐれた取り組みをやられている先例もあるんやなあというふうに思いましたので、ぜひとも董のこども食堂も、最初からそういうことは無理やと思うんですけども、徐々にそういったところも含めて取り組んでいただけたらありがたいかなというふうに思っています。どこまでできるかわかりませんが、区としましてもでき

る限りの力添えをしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それと、もう1つ、上島委員と谷口部会長のほうからございましたけれども、確かに高齢者も含めまして、これ実はゼロ歳児なんかも同じことが言えるんですけども、情報がないというふうな話、先ほど、子育て支援部長時代には、実は、民生委員児童委員の関係の仕事もさせていただきまして、実は大阪市全体の民生委員児童委員協議会の中でも大きな問題ということで、いろいろと知恵を絞ったんですけども、確かに先ほど、奥野副区長のほうから申し上げましたように、個人情報保護の高い壁に阻まれて、なかなかそのところがうまいこといかないというふうなところがあったりします。ただ、何ができるかというところで、この3年間かけまして、いわゆる要援護者についての名簿作成を進めております。これが100%のものであるとは思いませんけれども、少しでもそういった、高齢者の情報でありますとか、あるいは障がい者の情報でありますとか、そういったものを地道に収集をしていきまして、そういった方々の支援のほうにつなげていけたらと考えているところでございます。

確かに社会の変化でありますとか、法律を含めました制度の変化でありますとか、あるいは先ほどのマンションの表札の話ありましたけれども、個人の意識の変化、そういったなかなか乗り越えていくには非常に難しい問題がさまざまございますけれども、少しでもそれぞれの問題が前進いたしますように、私どももできるだけ知恵を絞っていきたくて考えておりますので、皆様方のほうからもぜひとも何か御知恵がありましたら教えていただきたいなと思っている次第でございます。

本日そういったことで、いろいろと御意見頂戴しましたけれども、こういった御意見につきましては、今後、区の将来ビジョン、並びに区の運営方針、さらには予算の御要望もいただいておりますけれども、予算の策定作業、これから始まってまいりますので、そういったものに活かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

○谷口部会長 どうもありがとうございました。

時間も迫っておりますけども、本日、ホンダ議員、お見えでございますので、御助言いただけることがありましたら、先生、よろしくひとつ。

○ホンダ議員 途中から参加で申しわけございません。長時間にわたりお疲れさまでした。また、2年にわたりまして多種にわたる御意見をいただきましたことで、将来ビジョンも充実していくものになるのかなと思っております。

区長も先ほど言われてましたとおり、皆さんの意見が今後の区政につながっていくと思います。

区役所につきましては、皆さんの意見と区政がかけ離れたものにならないよう、今後お願いしまして、意見とさせていただきます。

ありがとうございます。

○谷口部会長 どうもありがとうございます。

それでは、城東区区政会議地域まちづくり部会の終了を、これにて終了ということにしたいと思います。

私もきょうが最後でございますので、いろいろとお世話いただきましてありがとうございました。皆さん方のおかげで何とかもちました。お後はよろしく、ひとつお願いいたします。

それでは、最後、事務局よろしく願いいたします。

○縣総務課長 谷口部会長、又川副部会長、委員の皆様、ありがとうございました。

それでは最後に、事務連絡ということでございますが、先ほど区長からもありましたが、7月の本会であつたりとか、本日の部会でいただきました御意見なども踏まえまして、将来ビジョン、あるいは30年度の運営方針、または、予算案の策定にとりかかってまいりたいと思っております。こちらにつきましては、10月開催の本会におきまして、将来ビジョンの素案であつたりとか、30年度の運営方針の素案

という形でお示しをさせていただきたいと思っておりますので、またよろしくお願ひ
したいと思ひます。

次に、毎回お願ひしておりますが、資料3の御意見シート。郵送、ファクス、メー
ル等でも結構です。気づいた点等がございましたら、また後日提出のほうをお願ひで
きたらと思ひます。

それから本日もう1点、お願ひがござひます。

本日の資料の中に、市政改革プラン2.0の区政編があつたかと思ひます。ちよつ
と分厚い関係もござひまして、細かいところは省かせていただくんですけども、実
は、この中に区における住民主体の自治の実現に関する取り組みというのがござひま
して、その1つとして、区政会議の運営について効果的なPDCAの実施というもの
が挙げられております。各区において、区政会議の委員の方とより活発な意見交換を
するとか、区政への委員からの直接の評価をやっていただきましようということにな
りつています。

つきましては、今後の区政や区政会議の運営に反映をしていきたいと考えておりま
すので、別にアンケートを実施したいと考えています。具体的なアンケートの内容に
つきましては、現在、大阪市全体24区ありますので、全体でどういふ質問をするか
検討しております。内容が確定次第、9月の上旬ぐらいになるかと思ひますが、皆様
のところへ直接郵送で送らせていただきたいと考えておりますので、同封しておりま
す封筒で回答をお願ひしたいと思ひます。内容については、区政会議の運営に関する
ことであつたり、区の取り組みが区の目標実現に向かつて有効であつたかとか、そう
いふ観点の内容になるかと思ひます。区政会議に御参加いただいた経験に基づきま
して、お手数をおかけしますが、率直な御意見いただけたらと思ひます。

それでは、本日の地域まちづくり部会はこれで終了とさせていただきたいんですけ
れども、委員の皆様におかれましては、先ほど谷口部会長からもお話がありましたが、
今回の任期では、この部会が区政会議委員として参加いただく最後の会合になるかと

思います。2年間の長期間にわたりまして、区政会議に参加いただきまして、本当にお疲れさまでございました。10月以降も委員を続けていただく方は、もちろんでございますし、今回委員を降りられる方につきましても、引き続き、区政に対しまして御指導、御鞭撻、何とぞよろしくお願ひしたいと思ひます。本当にどうもありがとうございました。

○谷口部会長 ありがとうございました。

○縣総務課長 それでは、皆様、気をつけてお帰りいただきますようお願いいたします。